

## 2018年度前期後期 大学院授業評価アンケート

文学研究科・人間社会研究科

### ◆授業の形式

教員の講義を中心とする形式	13.0%
学生の発表を中心とする形式	17.4%
ディスカッション、対話による指導を中心とする形式	30.4%
以上を複合した形式	39.1%

履修者	75
回答者	23
回答率	30.7%

### ◆授業評価アンケート

	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない
1. シラバスはわかりやすかった。	87.0%	8.7%	0.0%	4.3%	0.0%
2. 授業のために十分な予習、復習を行った。	65.2%	34.8%	0.0%	0.0%	0.0%
3. 授業には意欲的、積極的に取り組んだ。	87.0%	13.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 授業、研究指導は自身の研究の遂行に役立った。	87.0%	4.3%	8.7%	0.0%	0.0%
5. 全体として授業、研究指導に満足している。	91.3%	0.0%	4.3%	0.0%	4.3%

### ◆研究設備（院生室、図書館）、大学の学外研究支援などについての要望

図書館レファレンスの受付時間を週1日でも構いませんので、長くしていただけると、大変助かります。専門演習IIの授業についてですが、先生からの指導が一貫しておらず、困ったこともありました。

### ◆授業改善に関する報告

図書館の時間延長については、これまで教員側からも大学に対して要望を出していますが、実現していません。今後も要望として出していく予定です。修士論文指導にあたっては、主指導教員と副指導教員は十分な情報共有を行います。